



埼玉県立狭山清陵高等学校

2学年 保護者対象進路講演会

進学アドバイザー 川野 文子



【本日の内容】

- 高校卒業後の進路について
- 進路決定までの心構えと考え方
- 「入試制度」の概要
- 進学に必要な費用とサポート制度
- これからのために
- メッセージ



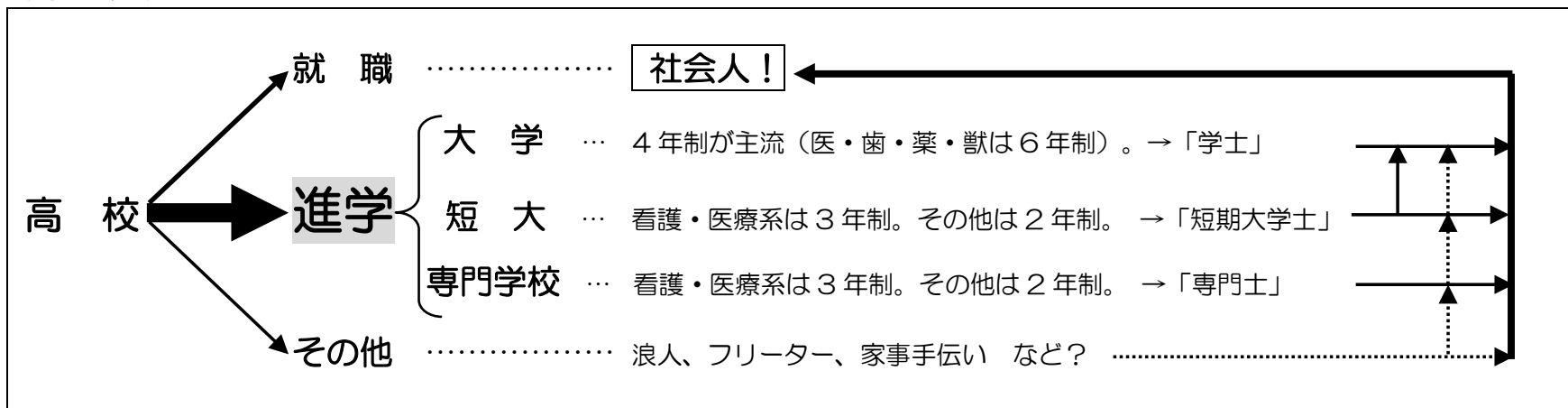
■高校卒業後の進路について①

卒業後の進路イメージ ～中学校と高等学校での違い～

⇒中学卒業後の進路 … 自分で「選択」しなければならないポイントは、実は非常に少なく、考えやすい。



⇒高校卒業後の進路 … 選択肢が多様。将来どのような方向に進みたいかを良く考え、高校3年間で計画的に過ごす必要がある。



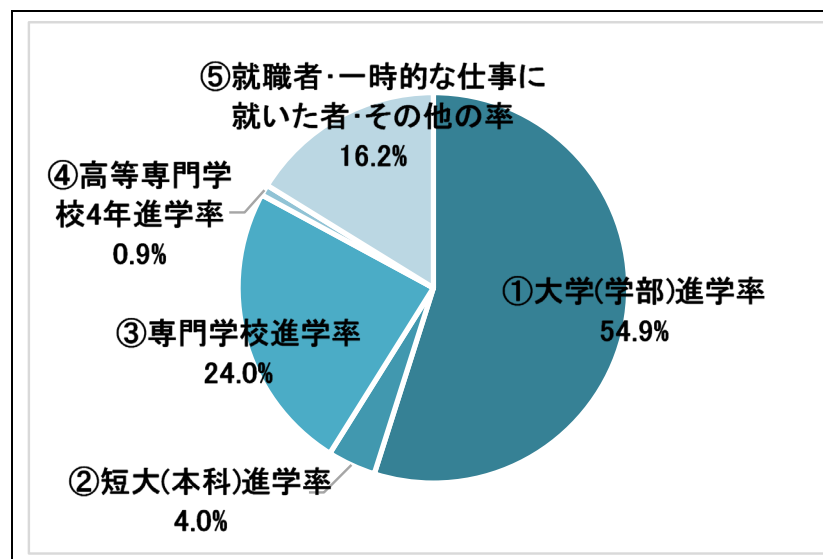
■高校卒業後の進路について②

【実際】高校卒業生の進路（令和3年3月／全国）

- * 高等教育機関(大学(学部)・短期大学(本科)入学者、高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者)への進学率は83.8%で、前年度より0.3ポイント上昇し、過去最高。
- 大学(学部)・短期大学(本科)進学率は58.9%で、前年度より0.3ポイント上昇し、過去最高。
 - 大学(学部)進学率は54.9%で、前年度より0.5ポイント上昇し、過去最高。
 - 専門学校進学率は24.0%で、前年度と横ばい。

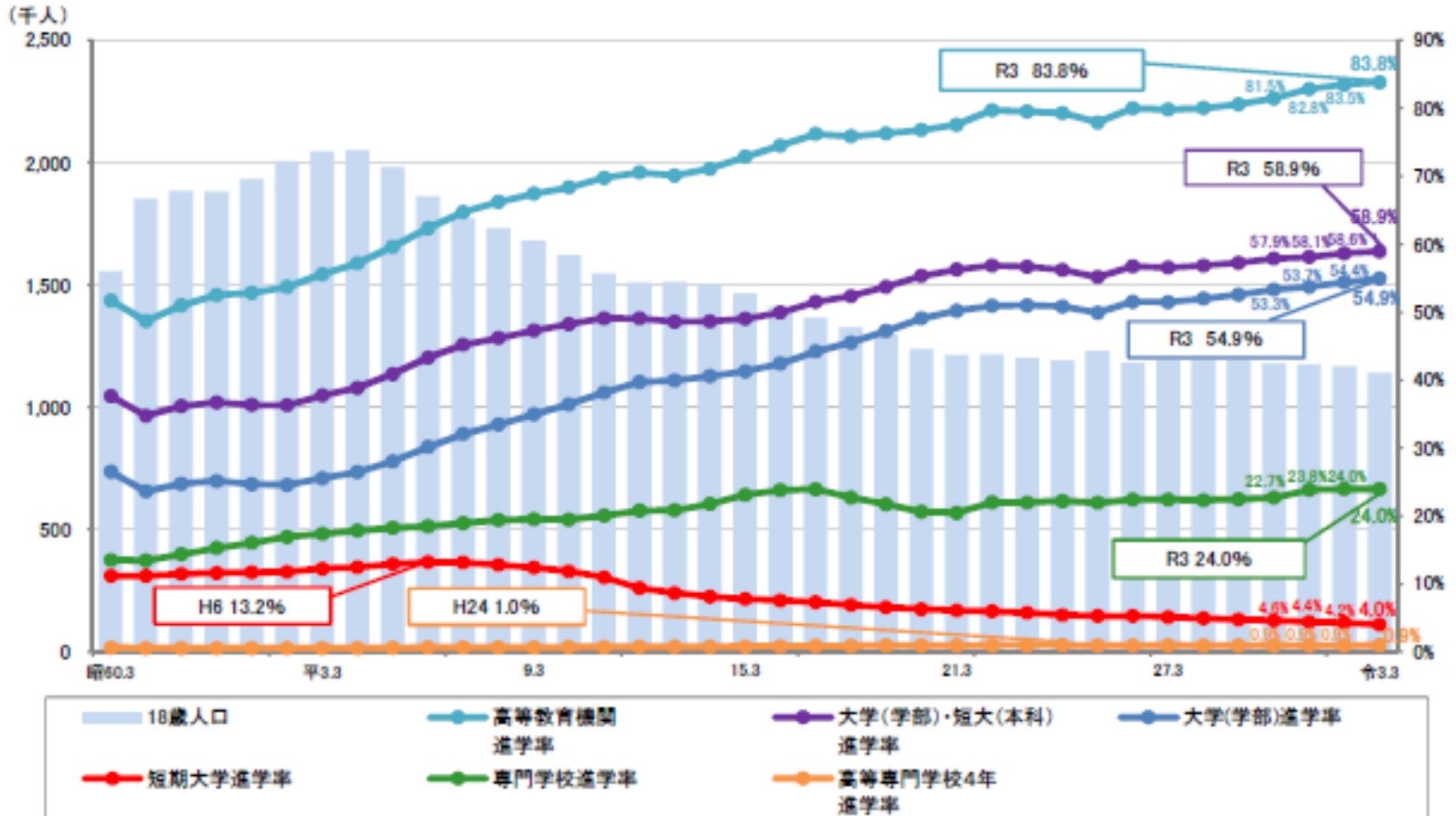
区分	比率(%)
(高等教育機関進学率 ①+②+③+④)	83.8%
(大学・短大進学率 ①+②)	58.9%
① 大学(学部)進学率	54.9%
② 短大(本科)進学率	4.0%
③ 専門学校進学率	24.0%
④ 高等専門学校4年進学率	0.9%
⑤ 就職者・一時的な仕事に就いた者・その他の率	16.2%
合計	100%

※出典: 文部科学省「令和3年度学校基本調査(確定値)」



■ 高校卒業後の進路について③

図3 高等教育機関への進学率



出典: 文部科学省「令和3年度学校基本調査(確定値)」

■進路決定までの心構えと考え方①

★保護者としては...

- ①いずれ社会に出て働く・社会人として経済的に自立する、という現実から発想する。
- ②我が子に合った「職業」・「理想の働き方」を広い視野から客観的に考える。
- ③本人と向き合って考えを尊重し、親の見立ても選択肢として伝え、一緒に検討する。

→「親の希望」「見栄・世間体」「親族の志向性」等は、とりあえず頭から締め出す

→ 本人の好きな事(興味)は？ 得意な事(能力)は？

性格・大切にしている事(価値観)は？ 集団の中での担うことが多い立場・役割は？

→ 本人の希望は、大人の目で見合っているか？ 実現の可能性・妥当性はあるか？

(※就業可能なだけの募集はあるか？ 続けられる雇用環境は整っているか？)



「積極的な情報収集」&「冷静な見極め」が<鍵>！

■進路決定までの心構えと考え方②-1

★就職の場合は...

- ①上記を検討の結果、やりたい事が明確で迷いが無く、
高卒生の採用があるならば挑戦可能。
 - ②早期に就職することでより確かな能力開発が可能な場合もある(職人系の道等)
 - ③ただし！高卒生の就職活動では複数企業に同時応募ができないため、
先生や保護者と一緒に十分な「業界・職場・職種研究」と「自己分析」をベースに
応募先の絞り込みと順位付けを行うことが不可欠。
 - ④応募に際しては、先生を交えて筆記・面接試験対策をしっかりと行うことで
採用の可能性を高める。
- 高卒生の採用活動の解禁は通常ならば3年生の9月1日(※現状ではコロナ禍の影響で9月16日)。
よって遅くとも3年生の夏には準備を進める。
- 企業への応募には、学校指定の履歴書を用いるのが一般的なので要確認
⇨記載項目を知っておくべき。
- 応募は1回に1社のみ。不採用だった場合に2社目に挑戦する。よって第1志望から受けることになる。
- 公務員志望の場合は早期から試験対策を行い、受験に備えること。
(消防等では体力測定もある！)

■進路決定までの心構えと考え方②-2

【令和4年3月新規高等学校卒業者の採用選考期日等】

- ハローワークによる求人申込書の受付開始 …… 6月1日
※ 高校生を対象とした求人については、ハローワークにおいて
求人の内容を確認したのち、学校に求人が提出されることとなります。
- 企業による学校への求人申込及び学校訪問開始 …… 7月1日
- 学校から企業への生徒の応募書類提出開始 …… 9月5日 (沖縄県は8月30日)
- 企業による**選考開始**及び採用内定開始 …… **9月16日**

※出典: 文部科学省HP (https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000193580_00007.html)

■進路決定までの心構えと考え方③-1

★上級学校進学の場合は...

- ①夢や理想の実現のために必要なor有効な手段と思われれば、積極的かつ真剣に検討する。
 - ②将来につながる専門性を選び・養うこと、なので志望校・志望分野の選定は慎重に。
- 受験では志望『学科』に対して出願するのが基本。※出願時点で「専門」は決定済み！

【確認】進学先ごとの「学び」の特徴

高校まで	⇔	大学	短期大学	専門学校
3年制		4年制（医歯薬獣は6年制）	2年制（看護・医療系は3年制）	2年制（看護・医療系は3年制）
高校卒業		学士号	短期大学士号	専門士
社会生活に必要な基礎知識の習得	⇔	学問を深く追求・研究	学問の追求・研究	職業教育・職業訓練
「普遍的な真理」とされていることを『覚える』ことが中心。		自分なりのテーマをもって「研究する」		
	⇔	幅広い教養をベースに、高度で学術的な専門知識とその分野の研究を行える能力を身につける。職業選択の幅は広い。	教養をベースに、学術的な専門知識と研究に必要な能力の導入を受ける。同時にその力を活かした資格や免許の取得を目指す。	実務に直結した職業教育・職業訓練を通じて、その仕事に必要な知識や技能の習得、資格や免許の取得を目指す。
大学・短大・専門学校への進学か就職。		卒業後は、文系は就職が主流、理系は大学院への進学が増加中。	就職はもちろん、専攻科への進学や大学への編入、留学と選択肢が多い。	学んだ分野と直結する職業・業界に就職する。進路変更は難しい。

■進路決定までの心構えと考え方③-2

★本人を中心に…

1「学びたいこと」を探す

- * 手掛かりは…将来なりたい職業、やってみたいこと、好きなこと、得意なこと、など
- * 気になる分野が見つかったら、その分野の〈学び〉や〈卒業後〉についても情報収集。

2「学びたいこと」が見つかったら…

- ①その分野が学べる大学・短大・専門学校をリストアップ！
- ②研究内容や取得可能な資格を大学ごとにチェック！

3 候補校について十分な「学校研究」を行う

- * 候補校については、入試制度や卒業後の進路状況などの情報収集を行い、比較検討することが不可欠です。
- * 最終的には、①学部・学科の内容 ②入試科目・配点 ③大学の所在地 ④入試の難易度 ⑤学費 ⑥卒業後の進路 等の観点から総合的に考慮し、家族で相談して絞り込めば安心です。
- * 特に『学費』については、金額だけでなく「いつ・どのような方法で納めるのか？」も必ず家族で確認して下さい。

■進路決定までの心構えと考え方③-3

4 専門学校選びには更に『注意点』あり！

- ①学校・学科選びが職業に直結していることを十分に意識する。
→ 本当にやりたい事か？ 求人は十分にあるか？ etc.
- ②教育内容・就業実績は学校によって違いがあるので、
しっかり情報収集し、慎重に検討することが必要。
- ③「体験入学」などのイベントだけでなく、平日に学校訪問し
「学校見学」で普段の様子を見ることも重要。
- ④「認可校」と「無認可校」の違いは必ず確認。
- ⑤「総合型選抜での入学なら〇〇割引！」といった
「青田刈り」的な謳い文句に踊らされないこと。

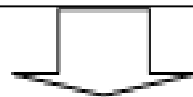
■進路決定までの心構えと考え方④-1

- ◆大学・短大進学 { 学問の研究や多くの人々との出会いを通じて「人」として成長できます。
幅広い教養があることで、総合職としての就職が可能になります。
高度な職業人として不可欠な、学問上の専門を持ちます。
- ⇒ 卒業後は？ {
・文系を主に多くの卒業生が 就職 を目指します。
・理系を中心に 大学院へ進学 し、更に高度かつ専門的な研究を深めるケースも増えています。
・短大は 卒業後の進路選択の幅が広く 希望に合ったキャリア選択が可能です。
*企業等への就職の他、専攻科（1年制）への進学、大学（2～3年次）への編入学、海外への留学等、進学者が増加中です。
- ◆専門学校進学 …… 特定の職業 を目標とし、実務 で必要とされる 知識 と 技能(スキル) を実践的に養います。
- ⇒ 卒業後は？ {
・学んだ分野に直結 する業界・職種への就職が定番です。

■進路決定までの心構えと考え方④-2

上級学校進学 = 将来につながる専門性を選び・養うこと

※受験では志望『学科』に対して出願するため、出願時点で「専門」は決定済み！
「希望の職種に就くには？」「理想の働き方を実現するには？」



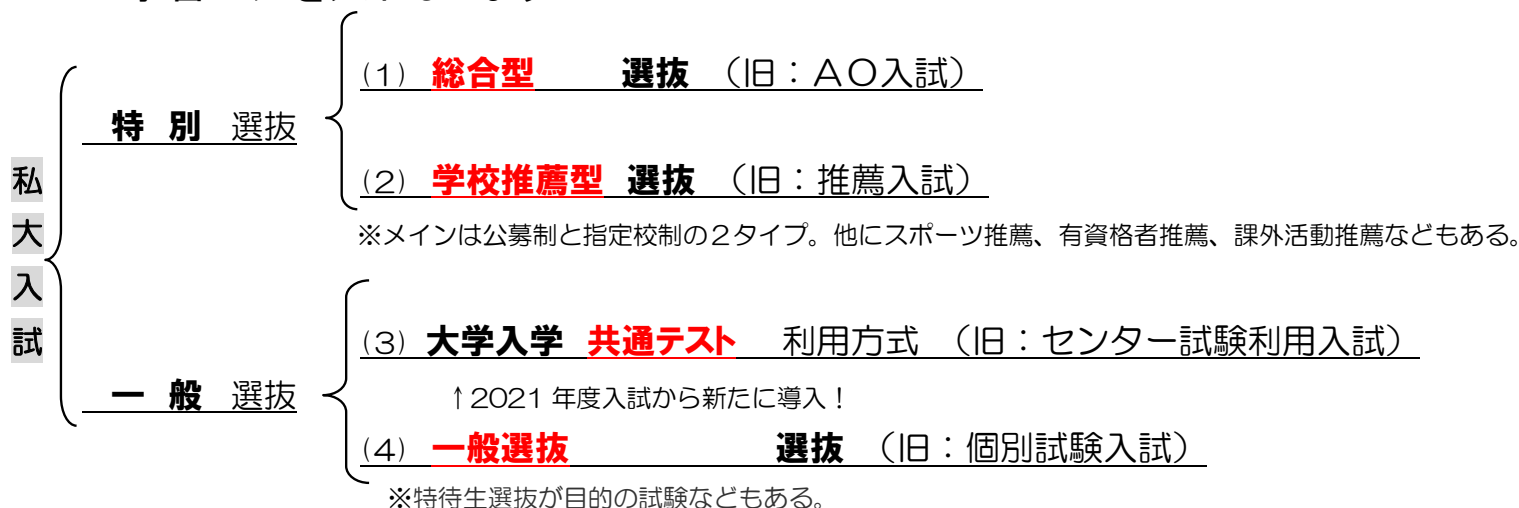
**前述③の作業を通じて本人にとっての
「いい学校」= 学びたい事のある学校を絞り込む。**

- * 受験の主役はお子さんです。
ですが残念ながら、高校生の視野には入っていない事柄が沢山あります。
- * あとで「知らなかった！」では困りますので、相談にはしっかりご対応頂き、大人の目線でお子さんの夢の実現をサポートしてあげてください。

■ 「入試制度」の概要①

大学・短大の入試制度について

- ・現在の大学入試を「制度」の面から分類すると下図のようになりますが、2021年度入試から呼称が変わったので要注意
 - ・上から順に、準備・出願時期の <早いもの> → <遅いもの> となっています。
 - ・実施状況や募集定員の内訳は大学・学部・学科によって様々なので確認が必要です。
- ★どの制度でも、「高校卒業」に相応しい学力が無ければ「合格は困難」です。
- 日々の学習に力を入れましょう！



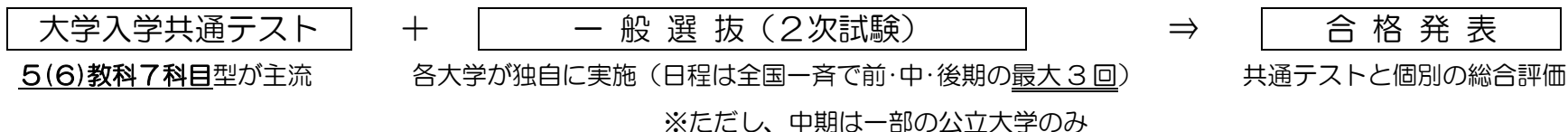
■ 「入試制度」の概要②

私立大学・短大入試の概要（2023年度入学＝現3年生の場合）

	(1) 総合型選抜	(2) 学校推薦型選抜	(3) 共通テスト利用方式	(4) 一般選抜
時期	最も早い＝夏～秋	早い＝10月下旬～12月上旬 別名「秋の一般入試」	2023年1月14・15日 (追試験は1月21・22日)	遅い＝1月下旬～3月
試験内容	出願書類、面接、小論文、等		マークシート方式のみ 受験科目は出願時に各自申告	教科試験 (場合によって +小論文 等)
評価観点	高校の成績・生活態度、課外活動、人物、意欲、表現能力 等 <人物・やる気・実績重視型>		学力、教科試験での実力 (＋運?) <実力重視の一発勝負型>	
注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく一部の大学・学科を除き、基本的に 専願。 ・その場合、他大学の並行受験や合格後の入学辞退は不可。 ・非常に高倍率、学科試験を課すところもあるので要確認。 		併願可 。日程や費用に問題が無ければ、何件でも出願できる。 その分、 戦略的な出願校の組み方・入学手続きへの目配り が重要。	
適性	<ul style="list-style-type: none"> ・高校の学業成績・生活態度が良好 ・出願要件の資格取得 ・課外活動等が充実し、実績を示せる。 ・志望動機や将来の進路、入学後に学びたいことが明確。 ・志願書類や課題の作成、面接等に前向きに取り組める。 ・自分の考えを論理的に表現できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・受験生全員！ 現役生の条件は卒業見込みであることのみ。 ・これから本格的に学習に力を入れよう！と考えている。 ・能力に限界を作らず、多くの大学にチャレンジしたい。 ・教科テストに強みがある。 ・「特待生」制度の攻略を狙いたい。 	
攻略法	<ul style="list-style-type: none"> ★早目の情報収集…オープンキャンパス・説明会、HP、大学案内等 ★早目の確認・相談…成績の確認、先生や家族との相談・連携 ・出願時期の違い、併願可能な大学・学科を活かす。 ・予備校等の「対策講座」を活用する手もある？ ★何かに打ち込む！＝ 持ち味を伸ばし、成果を示す(探す)。 		<ul style="list-style-type: none"> ・早期に自宅学習を習慣化し、基礎力の拡充→実力 up を図る。 ・受験科目目と出題範囲は可能な限り一本化する。 ・模試の活用→弱点の把握、試験慣れ、客観的な指標 ・高倍率には出願の<数>で対抗するという意識も必要。特に、複線入試の組み込みはぜひ検討すべき。 	

■ 「入試制度」の概要③

国公立大学の一般選抜概要



「大学入学共通テスト」の位置付け

★大学・短大進学を目指すならば、「大学入学共通テスト」の受験は欠かせない！ 略称は「共通テスト」。

- ・国公立大学の一般選抜受験者にとっては原則受験必須の1次試験。私立大学志望者にとっても「共通テスト利用方式」での出願が可能。
- ・2022年度入試(卒業生)は1月15日(土)、16日(日)に実施。2023年度入試(現3年生)は1月14日(土)、15日(日)に実施予定。
- ・現役生の出願は、9月下旬頃に高校で取りまとめ、一括して行うので、学校の指示に従うこと。

*科目選択の幅が広く、組み合わせの自由度も高いため、得意科目・分野で勝負できる！ 但し、志望校の科目指定に合わせること。

★「共通テストを受けること」 ≠ 「共通テスト利用方式での私立大学受験」 に注意！

- ・「共通テスト利用方式での私立大学受験」の場合は、年末～年明け頃に志望大学ごとに個別に出願する必要がある。

* <後出し>活用で合格 get！ → 共通テスト実施後の出願締切設定が増加。自己採点で合格可能性の高い学科を探して狙い撃つ作戦。

★特別入試で合格→進学する場合でも、高校卒業時の実力確認として入学までに必ず解いて、復習しておく。

■ 「入試制度」の概要④

大学・短大入試までの主なスケジュール (2023 年度入学＝現3年生の場合)

	総合型選抜	学校推薦型選抜	私立大学・短大の一般選抜	共通テスト・国公立大学
1 学期	自己分析 大学研究 →出願校決定	<定期試験対策> 成績 up 自己分析 志望校探し	<実力養成期> 高校の授業に集中 自宅学習の習慣化 志望校探し→大学研究(情報収集)	<実力養成期> 高校の授業に集中 自宅学習の習慣化 志望校探し→大学研究(情報収集)
夏休み	事前面談 →エントリー →課題提出・本面談	→オープンキャンパス (大学研究・情報収集)	<実力完成期> 得意科目は早めに進め 苦手科目は復習中心 オープンキャンパス(情報収集)	<実力完成期> 得意科目は早めに進め 苦手科目は復習中心 オープンキャンパス(情報収集)
9 月	選考会(出願許可) → 出願(9月以降)	9～10月 指定校(校内選考)・ 公募制・ｽﾎﾟｰﾂ推薦ほか → 出願校決定・出願準備	<得点力養成期> 問題演習→過去問題 入試要項(願書)配布開始	共通テスト「受験案内」配布 →共通テスト出願の校内締切り
10 月	合格発表 →入学手続き			9月下旬～10月上旬頃 共通テスト出願期間
11 月	<定期試験対策>	出願(11月以降) 11月～12月上旬 受験		10月下旬～11月上旬 出願内容確認はがき送付
12 月	大学からの課題 英語対策(入学まで)	11月下旬～12月 合格発表 →入学手続き	12月中旬～ 共通テスト利用方式 出願開始	12月上～中旬 共通テスト受験票送付
1 月	共通テストを解く	大学からの課題 英語対策(入学まで) 共通テストを解く	<合格力養成期> 過去問題+入試問題 1月上旬～ 一般選抜 出願開始 中旬～ 共通テスト利用 後出し開始 下旬～ 一般選抜 受験開始	<合格力養成期> 過去問題+入試問題 2023年1月14日(土)・15日(日) 共通テスト受験 →自己採点 1/23～2/1 一般選抜(2次)出願期間
2 月			2月上旬～ 合格発表 →入学手続き 2月中旬～ 一般選抜後半戦出願開始 2月下旬～3月上旬 一般選抜後半戦 (2期・後期・3月入試)	2/25～ 前期日程受験 3/6～10 前期日程合格発表 →入学手続き ～3/15
3 月			3月中・下旬 後半戦合格発表 →入学手続き (※3月上旬～ 順次繰上げ合格発表)	3/8～ 公立大中期日程受験 3/12～ 後期日程受験 3/20～24 中・後期日程合格発表 →入学手続き ～3/27

※私大の入学手続きは「合格発表から1週間程度が期限」となっている場合が多いので、特別入試受験の人は要注意!

■ 「入試制度」の概要⑤-1

「大学入学共通テスト」の詳細

◆出題科目は？：現在は、国語・地理歴史・公民・数学・理科・外国語の6教科30科目。この中から最大8科目(理科①選択だと9科目)を受験できる。現高1生が受験する2025年度入試からは、新教科「情報」(科目は「情報Ⅰ」と浪人生向けの「旧情報(仮)」)の出題が開始され、7教科21科目へと移行する。いずれも指定教科・科目は大学・学部・学科により異なるので、受験生は志望大学の指定に合わせて選択・受験することが必要。

◆受験科目は？：国公立大学の多くが現行5教科7科目→2025年からは6教科8科目。私立大学の共通テスト利用方式では2～3教科が主流。学部・学科の性質上、特定科目の受験を必須とする場合も多いので要確認。

◆理科の選択方法には要注意：受験科目は当日に問題を見てから決めることもできるが、A～Dのどのパターンで受験するか？は出願時に申請する。国公立大学の理系学部では、ほとんどが理科2科目の受験を必須とするが理科①受験は認めないため、国公立大学の理系学部を志望するならDパターン、つまり理科②の2科目選択が妥当。一方、国公立大学でも文系学部では、多くが理科①2科目または理科②1科目で受験できるため、Aパターンで理科①2科目を選択すべき。私立大学も同様で、理系は理科②、文系は理科①と考えておけばよい。

「入試制度」の概要⑤-2

【参考】2025年度大学入学共通テスト 出題教科・配点・試験時間一覧

教科	科目	配点	試験時間	選択方法
国語	『国語』	200点	90分	
地理 歴史	『地理総合、地理探求』 『歴史総合、日本史探求』 『歴史総合、世界史探求』	1科目 100点	1科目選択 60分	6科目から最大2科目を選択解答する ※受験科目数は出願時に申請 <選択不可の組合せ> *『公共、倫理』『公共、政治・経済』 *『地理総合、歴史総合、公共』で選択解答した 問題の出題範囲科目と同一名称を含む科目
	『地理総合、歴史総合、公共』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』	2科目 200点	2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)	
公民				
数学	① 『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』	100点	70分	2科目から1科目を選択解答する
	② 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	100点	70分	*「数学B」「数学C」については、各2項目 の出題のうち3項目を選択解答する。
理科	『物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎』①	1科目 100点	1科目選択 60分	5科目から下記のいずれかの選択方法 (パターン)により科目・問題を選択解答する A：左記①から2科目の内容の問題 B：左記②から1科目 C：上記のA+B (同一名称を含む科目の組合せも可) D：左記②から2科目 ※A～Dの選択方法は出願時に申請
	『物理』 『化学』 『生物』 『地学』 } ②	2科目 200点	2科目選択 130分 (うち解答時間 120分)	
外国語	『英語』 + ICプレーヤーを使用する試験	各100 点? 計200 点?	80分 + ICプレーヤーを 使用する試験 60分 (うち解答時間 30分)	5科目から1科目を選択解答する
	『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	200点		
情報	『情報』	100点?	60分	

※「国語」は「国語総合」の内容を出題範囲とし、近代以降の文章(100点)、古典(古文50点、漢文50点)を出題。

※「地理歴史および公民」「理科」の2科目選択者の試験は、解答順に第1解答科目・第2解答科目に区分し、各60分で実施する。試験時間130分には第1・第2解答科目間の答案回収等の時間10分を含む。

※ICプレーヤーを使用する試験は『英語』のみとし、外国語の試験時間80分とは別の試験時間帯で実施する。

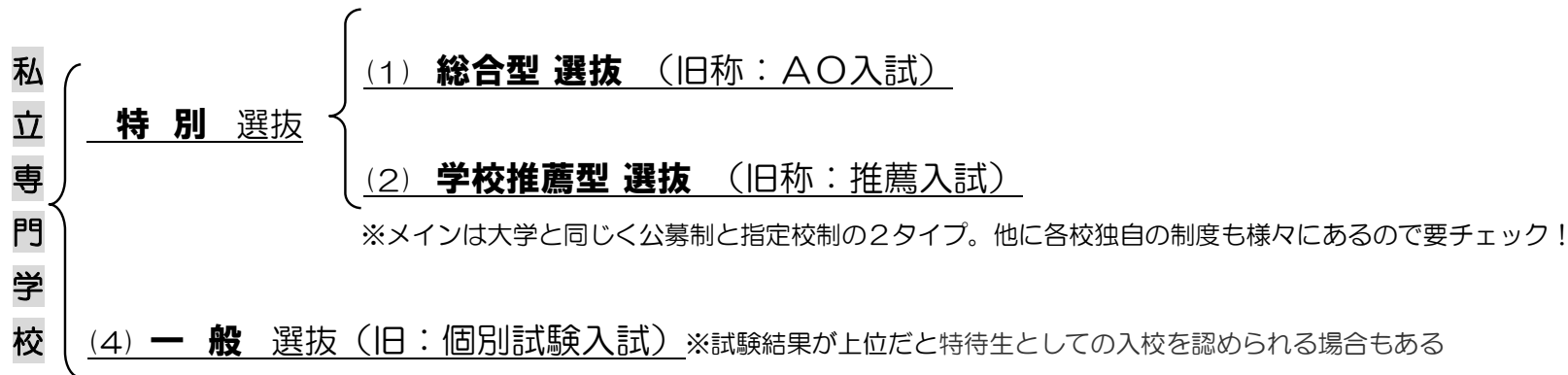
試験時間60分には機器の動作確認等の30分を含み、解答時間は30分。

■ 「入試制度」の概要⑥-1

専門学校の入試制度について

- ・大学・短大と同様に、2021年度入試から呼称を変えた学校もあるので要注意。
 - ・大学・短大の「共通テスト」に相当する全国一斉の共通な試験はありません。
 - ・上から順に、準備・出願時期の <早いもの> → <遅いもの> となっています。
 - ・実施状況や募集定員の内訳は学校・専攻・コース等によって様々なので確認が必要です。
- ★どの制度でも、「高校卒業」に相応しい学力が無ければ「合格は困難」です。

日々の学習に力を入れましょう！



【要注意！】大学・短大とは異なる専門学校特有の「学科定員と募集の関係」

- 1) 各入試とも回数は数多く設定されているが、大学・短大と違い毎回の募集定員が決められていない。そのため合格者の累計が学科・コース定員に達するとその時点で募集を締め切るシステムとなっている点には要注意。
- 2) 人気の高い製菓・美容・動物などの分野で、12月を待たずに募集を締め切る学校がある。
- 3) 人気の無い分野では3月末まで、学校によっては4月の入学式直前まで募集を続ける(特別・一般とも)学校もある。

■ 「入試制度」の概要⑥-2

専門学校入試の概要（2022年度入学＝現3年生の場合）

	総合型選抜【注1】	学校推薦型選抜	私立一般選抜	県立よこはま看護専【注2】
準備	※遅くとも高校3年生の夏休みまでに「志望分野の決定→志望校の絞り込み→志望校決定」を行い、準備に入ること。			
募集時期	エントリー開始…6/1以降 出願受付開始…8/1以降	出願受付開始…10/1以降	出願受付開始 ・東京都…11/1以降 ・その他…10/1以降	出願期間 2022年10月24(月) ～11月11日(金)消印有効
発表	※選考日から1週間程度。本人宛に郵送されるのが一般的。			試験日
手続	※合格発表から1週間～10日程度が期限となるのが一般的。 試験日程が早ければ、10月には入学手続きの費用が必要です。			一次…2022年11月26日 二次…2022年11月9日
試験内容	出願書類、面接、小論文等 (看護医療系等では、教科試験を課される場合もある。)		書類、面接、小論文が主流 学科により教科試験や実技も	学科試験(国・数・英)、面接
注意	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に<u>専願</u>（合格したら入学手続きが必須）。【注3】 評定平均値は「2.7以上」が出願要件となるのが主流。 <u>看護医療系</u>や<u>人気系統</u>は<u>高め</u>なことが多い。 欠席日数に上限がある場合もある。 試験に教科や実技の試験が課される場合もある。 		<ul style="list-style-type: none"> <u>併願可</u>。日程や費用に問題が無ければ、何件でも出願できる。 大学・短大との併願校とする場合も多い。 その分、<u>戦略的な出願校の組み方・入学手続きへの目配り</u>が重要。 	

【注1】総合型選抜の場合はエントリーの開始時期が非常に早く、大学・短大以上なので早目の行動開始が不可欠です。

【注2】神奈川県立よこはま看護専門学校の指定校推薦は<2022年9月30日(金)～10月11日(火)→試験日：10月25日(火)>です。

【注3】入学手続きも圧倒的に早いので、費用の準備も早目の計画が必須です。

■ 「入試制度」の概要⑦-1

総合型選抜・学校推薦型選抜について

◆それぞれの特別入試の特徴（※日程は「大学・短大」の場合）

	総合型選抜	学校推薦型選抜（※）
時期	<ul style="list-style-type: none"> 最も早い＝夏～秋 ※準備開始＝<u>1学期</u>から 出願受付の開始は<u>8月1日</u>以降 	<ul style="list-style-type: none"> 早い＝10月下旬～12月上旬 ※準備開始＝<u>夏休み</u>から 出願受付の開始は原則<u>11月1日</u>以降 別名「秋の一般入試」
出願要件	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校長の推薦は基本的に不要。 ・第三者の推薦を求められる場合がある。 ・「アドミッションズ・オフィス」が選考する。 ★調評定平均値の基準は無い場合が多い。 ★志願者のタイプが、各大学・学科の掲げる アドミッション・ポリシー＝「求める学生像」に合致することが不可欠。 ・所定の条件を満たせば自由に出願できる。 ・浪人生の出願も可能なことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆学校長の<u>推薦書</u>が必要。 (自己推薦の場合、推薦書は<u>自分</u>で書く。) ★成績基準や出身課程などの<u>出願要件(条件)</u>を満たすことが必要。 ★履修科目の指定や特定資格の取得、欠席数などの条件がある場合もある。 ・出願は現役生に限られることが多い。
	選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3か月程度の十分な時間をかける ・「出願書類＋面接＋課題・小論文など」多様 (↑調査書、志望理由書、自己PR書、活動報告書、第三者の推薦書など、多種) 人物・実績重視
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ごく一部の大学・学科を除き、基本的に専願。その場合、合格後の入学辞退・他大学の並行受験は不可。 ・大学・学科によっては非常に高倍率のところや学科試験を課すところもあるので要確認。 ・自分をPRできるもの(文化・スポーツ活動、特技、資格、独創性など)があることは極めて重要。出願要件の場合もある。 	

※主な推薦入試

- ＊**公募制**……学業成績など、大学ごとの出願資格を満たし、学校長の推薦を得られれば出願可能。
- ＊**指定校制**……大学の条件に従い高校内で選考するため、大学での選考で不合格になることはほとんど無い。
- ＊**スポーツ推薦**……選考基準がスポーツに特化しており、実績のある生徒が対象。実技試験もあり。
大学入学後に、推薦を受けた競技を続けることも条件であることがらつう。

■ 「入試制度」の概要⑦-2

◆総合型・学校推薦型選抜 挑戦への<鍵>

それぞれの選考方法の特徴がわかったら、自分にはどの方法での受験が可能なのか・向いているのか？ を家族や先生と相談して真剣に考え・行動しましょう。納得できる進学を果たすためにも、安易な選択はNGです！

【総合型・学校推薦型選抜に向くタイプの人】

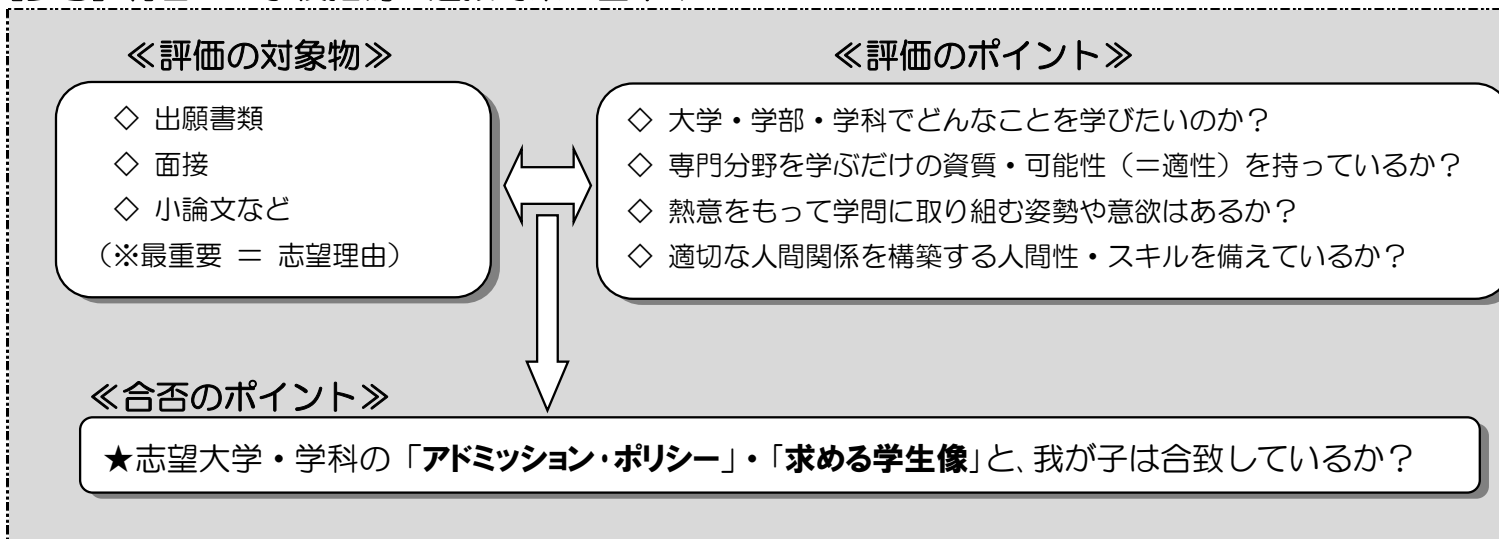
- ① 高校の授業を重視し、高い評定平均値を維持している人（※「成績優秀な者」＝最低でも 評定平均値 3.5 以上）
- ② 生活態度がしっかりしている人（遅刻・欠席・早退が無い or ほとんど無い）
- ③ 部活動や生徒会活動などの課外活動や、ボランティア活動や海外経験などの学外活動が充実している人
- ④ 英検や簿記などの資格を持っている人
- ⑤ 志望動機や将来の進路がはっきりしていて、入学後に学びたいことが明確な人
- ⑥ 自分の考えを論理的に表現できる人
- ⑦ 志願書類（志望理由書、自己PR文、課題作文等）の作成や面接、プレゼンテーションに前向きに取り組める人
- ⑧ 出願大学・学部・学科が第1志望の人

【成功への<鍵>は 早目の準備!】

- 早目の「大学情報」収集 …… オープンキャンパス・説明会 等への参加、大学ホームページ・大学案内 等の熟読
- 早目の確認・相談 …… 自分の成績（評定平均値）他の確認、先生や家族との相談→連携
- 基本は「第1志望」勝負！ … 裏技（力技?）としては、出願時期の違い、併願可能な大学・学科の活用も可能。
- 何よりも一番大事なのは …… 1年時から上記の①②③を中心に④～⑦も含めて全力投球し、高校生活を充実させること!

■ 「入試制度」の概要⑦-3

【参考】 総合型・学校推薦型選抜対策の基本イメージ



【注1】私立4年制大学の場合、成績条件は評定平均値3.5が最低ラインの目安。
人気のある大学や学科系統では更に高めの設定傾向。

【注2】評定平均値は1、2年生の学年末と3年生の1学期(前期)末までが対象。
授業や定期試験など、普段の努力が不可欠。

【注3】文部科学省の指導により2021年度入試から、総合型・学校推薦型選抜でも
何らかの学力を確認する評価の実施が必須となった。

【注4】合格から入学までの時間が長く、一般受験の学生との学力差がつきやすいので、
合格後も学習を続けることが絶対条件。

■進学に必要な費用とサポート制度①

1 進学に必要な費用

上級学校（大学・短大・専門学校）進学にあたって必要な費用は、以下の3点に大別できます。

1. 「受験」にかかる費用

- ・ **受験料**（☞表1）… 受験校によっては複数出願に対する割引制度があるので、募集要項等で確認し、上手に活用する。
- ・ **その他**（☞表2）… 交通費・宿泊費、願書・取り寄せ・発送費用、写真代、高校の書類作成費用など

2. 進学先に納める「学費」 （☞図1、表4、表5）

★「学費」の内訳を費目で大別すると以下の5項目となり、これは大学・短大・専門学校に共通です。

- (A) **入学金** … 初年度のみ必要で入学手続き時に一括納入する。一度納めると返還は無い。
- (B) **授業料** … 大学・学部・学科ごとに定められており、在学中、毎年必要な費用。分納 OK の学校もある。文系≦理系。入学手続き時に一度納めても、進学しない場合は申告により返還されるのが普通。
- (C) **施設・設備費** … 私立のみに発生。(B) 授業料と同様に扱われるが、分納は学校による。医・歯・薬・芸術系は高め。
- (D) **実験・実習費** … 学科格差が大きく、文系では不要なことも。履修科目による個人差などがあると記載が無い場合もある。
- (E) **その他(諸費)** … 維持費や教育充実費などの名目で私立学校が独自に設定。他に学友会費、保険料などを含む場合もある。

■進学に必要な費用とサポート制度③

4. その他の費用について(参考)

上記からは外れますが、今後の高校生活の中で「進学」およびその「準備」のために必要な費用として、以下のような事柄が考えられます。念のために…

- (1) オープンキャンパスや説明会等に参加する際の交通費など
- (2) 問題集・参考書に加え、受験情報誌や『赤本』・『共通テストの過去問題集』等の購入費
- (3) コピー代（情報収集や演習用の過去問題・解答用紙の複製用）
- (4) 模擬試験代
- (5) 塾・予備校の費用（入会金、諸経費、授業料、講習費用 など）

■表1 / 受験料

試験区分		出願1件あたりの金額	出願件数
大学入学共通テスト (成績開示を希望すると+800円)	2教科以下受験	12,000円(+800円)	いずれか1件のみ
	3教科以上受験	18,000円(+800円)	
国公立大学(全系統共通)	標準額	17,000円	一般選抜は最大3件
私立大学(医学科を除く平均)	特別選抜・一般選抜	30,000~35,000円(※)	一般選抜で概ね5~8件程度
	共通テスト利用方式	15,000~25,000円(※)	概ね2~4件程度
公立専門学校(都立看護専門学校)	学校推薦型・一般選抜	13,600円	一般でも都立は1件のみ
私立専門学校(全分野平均)	特別選抜・一般選抜	20,000~30,000円	概ね1件(併願先は大学・短大)

※受験校によっては複数出願に対する割引制度があるので、募集要項等で確認し、上手に活用すると良い。

■進学に必要な費用とサポート制度④

■表2 / 大学入学までにかかった費用

<自宅生>

受験・入学時の費用の比較			
	(単位:円)		
	国公立	私立	全体
出願をするためにかかった費用	137,000	183,400	164,500
受験のための費用	18,600	17,000	17,600
入学した大学への学校納付金	631,600	896,200	789,300
入学しなかった大学への納付金額	301,300	314,100	304,800
合格発表や入学手続きのための費用	4,300	3,900	4,100
入学式出席のための費用	4,900	4,400	4,600
教科書・教材購入費用	199,100	149,900	169,600
住まい探しの費用	—	—	—
生活用品購入費用	89,500	81,400	84,900
その他の費用	103,500	83,500	92,000
合計	1,282,400	1,508,200	1,418,200
後期納付金予定額	271,400	566,500	452,100

<下宿生>

受験・入学時の費用の比較			
	(単位:円)		
	国公立	私立	全体
出願をするためにかかった費用	123,000	156,700	133,600
受験のための費用	84,200	74,400	81,200
入学した大学への学校納付金	639,900	924,100	730,300
入学しなかった大学への納付金額	304,100	304,600	304,100
合格発表や入学手続きのための費用	37,800	37,200	37,600
入学式出席のための費用	42,300	42,100	42,200
教科書・教材購入費用	226,500	185,700	213,400
住まい探しの費用	183,600	221,100	195,500
生活用品購入費用	307,000	298,900	304,400
その他の費用	289,900	248,800	276,800
合計	1,996,300	2,221,800	2,068,400
後期納付金予定額	270,000	564,100	361,100

出典：大学生協調べ「2019年度保護者に聞く新入生調査」

※注1：費目の金額および合計額は「有額平均額」で表示。

※注2：各費目の金額および合計額は各々の平均額のため、費目毎の平均額の合計と合計の平均額が一致しない場合もある。

《生活費関連の留意点》

- ★下宿の場合、契約時に家賃の4~6ヶ月分の費用を準備するのが一般的（1ヶ月分の家賃+敷金+礼金+仲介手数料等を考慮）。
- ★生活費は地域により大きな差がある（＝首都圏、大都市圏は高め）。
- ★住居については「学生寮」の活用を検討する。
- ★年次によるキャンパス変更や遠距離通学の場合の交通費等にも注意が必要。

■進学に必要な費用とサポート制度⑤

■表 3 / 大学生活にかかる費用（1ヶ月の全国平均）

（単位：円）

収・支	自宅生		自宅外生		全学生
	2017年度	2018年度	2017年度	2018年度	2019年度
収入（小遣い or 仕送り・奨学金・アルバイト・定職・その他）	64,070	67,750	123,890	127,280	129,86
支出（食費・交通費・教養娯楽費・書籍費・日常費・貯金・繰越・その他）	62,590	67,200	120,750	126,100	129,09

出典：第 54 回学生の消費生活に関する実態調査（2018 年）および第 55 回学生の消費生活に関する実態調査（2019 年）、

【注】2019 年度版より集計の仕方が変わり、自宅生・自宅外生の区別がなくなり一本化された。

■図 1 / 私立大学（4年制）における「学費」納入に関するイメージ

初年度納付金	A	B	C	D	E
2年次納付金		B	C	D	E
3年次納付金		B	C	D	E
4年次納付金		B	C	D	E

⇨ 太枠が入学～卒業にかかる「総学費」

※初年度は他学年と比べ、**入学金**の分 20～25% 負担が重くなります。これを乗り切り、かつ以後 3年分の学費確保を確実に行うためには **<早目の資金計画>が不可欠**と言えます。

$$\begin{aligned}
 & \boxed{\text{約 23 万円}} + \text{文系 約 103 万円} \times 4 \text{年} \Rightarrow \text{およそ } \underline{\underline{\text{文系 435 万円}}} \\
 & \boxed{\text{約 25 万円}} + \text{理工系 約 142 万円} \times 4 \text{年} \Rightarrow \text{およそ } \underline{\underline{\text{理工系 593 万円}}}
 \end{aligned}$$

■進学に必要な費用とサポート制度⑥

■表 4 / 令和元年度 大学・短大初年度納付金 および卒業までの総学費 系統別平均額

(単位:円)

学部系統	①初年度納付金						②2年次以降	③卒業までの総学費
	(A)入学金	(B)授業料	(C)施設・設備費	(D)実験・実習費	(E)その他	A~Eの合計	B+C+D+E	①+②×(修業年限-1)
国立/昼間部(標準額)	282,000	535,800	—	—	—	817,800	535,800	2,425,200
公立/昼間部	地域内(平均)	229,365	538,734	—	—	768,099	538,734	2,384,307
	地域外(平均)	392,391	538,734	—	—	931,125	538,734	2,547,327
私立/昼間部(全平均)	248,813	911,716	180,194	34,644	91,163	1,466,530	1,217,717	5,119,687
文科系平均	228,262	793,513	150,807	8,832	75,786	1,257,199	1,028,938	4,344,013
理科系平均	255,566	1,116,880	177,241	62,566	61,192	1,673,446	1,417,879	5,927,083
医歯系平均(★6年制)	1,073,083	2,867,802	862,493	199,074	1,391,396	6,393,848	5,320,765	32,997,673
その他系統の平均	256,521	959,899	234,883	78,658	90,095	1,620,055	1,363,535	5,710,660
私立短大/昼間部(全平均)	239,058	703,349	172,795	45,663	108,244	1,269,108	1,030,051	2,299,159

出典: 文部科学省調査「令和元年度 初年度学生納付金平均額(定員1人あたりの調査結果)をもとに、「入学～卒業」までの総学費の試算を加筆。

※1) 「理科系」は理・工・農・獣・薬、「医歯系」は医・歯のみとし「6年間」で計算。「その他」は家政・芸術・体育・保健系統を含む。

※2) 獣医学は6年制だが農学系統に含め、ここでは4年で計算。医学部保健学科は4年制ため「医」区分ではなく「保健」区分に含める。

※3) 国公立大について

【国立大】文部科学省令による標準額。独立法人化により独自設定も可能となったため多少の差がある場合もある。

【公立大】文部科学省「2019年度学生納付金調査」より。入学金は多くの大学が地域内・外で別額を設定。

両者ともに「施設・設備費」は課されない。また、「実験実習費」「その他」は徴収状況がごく少数のため含めず。

■進学に必要な費用とサポート制度⑦

■表 5-1 / 都立看護専門学校¹の就学費用（『令和 4 年度入学案内』より）

初年度	
入学料	11,300
授業料(年額)	265,700
教科書代	110,000
ユニフォーム代・教材費	40,000
その他(損害保険)	4,500

2 年次	
授業料(年額)	265,700
教科書代	70,000

3 年次	
授業料(年額)	265,700
教科書代	10,000

※1) 左表の合計より 3 年間で約 1,042,900 円。

※2) 他に実習先までの交通費(実費)等

※3) 都立看護専門学校は入学料や授業料の納付が
困難な場合に所定の基準に基づく減・免制度があり、
高等教育無償化制度の対象機関でもある。

■進学に必要な費用とサポート制度⑧

■表 5-2/平成 30 年度 都内専門学校(昼間部) 初年度納付金系統別平均額

(単位:万円)

分野	学科区分	(A)入学金	(B)授業料	(C)設備費	(D)実習費	(E)その他	初年度合計	2 年次以降	入学～卒業
都立看護専門学校/昼間部[★3 年制]		11,300	265,700	—	—	154,500	431,500	335,700	1,042,900
都内私立専門学校/昼間部(全平均)		179,000	693,000	199,000	121,000	62,000	1,255,000	1,075,000	2,330,000
工業	土木・建築・測量	193,000	676,000	280,000	52,000	31,000	1,232,000	1,039,000	2,271,000
	自動車整備	192,000	454,000	253,000	260,000	61,000	1,221,000	1,028,000	2,249,000
	情報処理	169,000	602,000	286,000	131,000	27,000	1,214,000	1,046,000	2,260,000
	電気・電子・機械・その他	227,000	602,000	246,000	93,000	52,000	1,219,000	993,000	2,212,000
	ゲーム・CG	193,000	636,000	370,000	156,000	9,000	1,364,000	1,171,000	2,535,000
農業	バイオテクノロジー・その他	169,000	541,000	275,000	244,000	19,000	1,249,000	1,079,000	2,328,000
医療 [★3 年制]	看護	178,000	679,000	131,000	37,000	61,000	1,086,000	908,000	2,902,000
	臨床・診療放射線・臨工	253,000	731,000	150,000	238,000	68,000	1,439,000	1,187,000	3,813,000
	理学療法・作業療法	347,000	945,000	249,000	172,000	61,000	1,773,000	1,427,000	4,627,000
	柔道整復	288,000	979,000	152,000	85,000	21,000	1,525,000	1,237,000	3,999,000
	鍼灸・あんまマッサージ指圧	398,000	1,086,000	185,000	48,000	23,000	1,739,000	1,342,000	4,423,000
衛生	歯科衛生・歯科技工	224,000	676,000	33,000	189,000	68,000	1,190,000	966,000	3,122,000
	栄養・調理	181,000	604,000	192,000	346,000	80,000	1,404,000	1,222,000	2,626,000
	製菓	210,000	681,000	194,000	558,000	114,000	1,756,000	1,547,000	3,303,000
教育・福祉	美容・美容	117,000	557,000	197,000	205,000	226,000	1,302,000	1,185,000	2,487,000
	教育・保育	148,000	661,000	163,000	55,000	46,000	1,073,000	925,000	1,998,000
	介護福祉	138,000	637,000	126,000	89,000	37,000	1,027,000	889,000	1,916,000
商業実務	社会福祉	108,000	892,000	45,000	102,000	113,000	1,260,000	1,152,000	2,412,000
	簿記・ビジネス・IT	169,000	624,000	148,000	65,000	31,000	1,037,000	868,000	1,905,000
	旅行・ホテル・観光	134,000	811,000	193,000	76,000	32,000	1,246,000	1,112,000	2,358,000
	医療秘書・医療管理事務	98,000	714,000	159,000	110,000	54,000	1,135,000	1,037,000	2,172,000
服飾・家政	服飾・家政	197,000	624,000	174,000	32,000	101,000	1,128,000	931,000	2,059,000
文化・教養	語学	131,000	888,000	137,000	8,000	21,000	1,184,000	1,054,000	2,238,000
	美術・デザイン・写真	161,000	708,000	186,000	112,000	24,000	1,191,000	1,030,000	2,221,000
	音楽・演劇・映画	175,000	729,000	350,000	116,000	6,000	1,376,000	1,201,000	2,577,000
	法律行政	179,000	617,000	128,000	31,000	94,000	1,050,000	870,000	1,920,000
	スポーツ	143,000	698,000	196,000	77,000	91,000	1,204,000	1,062,000	2,266,000
	動物	188,000	616,000	275,000	182,000	56,000	1,318,000	1,129,000	2,447,000
	アニメ・声優・ゲーム	160,000	713,000	299,000	84,000	6,000	1,261,000	1,102,000	2,363,000
	日本語	87,000	693,000	55,000	34,000	23,000	891,000	805,000	1,696,000

出典:東京都専修学校各種学校協会 調査統計部 調べ

※1) 項目ごとの平均値を集計しているため、横の合計は一致しない。金額表示は千円以下を四捨五入している。

※2) 看護・医療系統は 3 年制のため「入学～卒業」までの総学費計算時には 3 年で、他の系統は基本的に 2 年制のため 2 年で計算。

■進学に必要な費用とサポート制度⑨

2 一般選抜で合格後の入学手続きについて

合格後の入学手続き金納入の方式は、ほぼ4通りです。主流は **2段階納入方式** と **分割納入方式** ですが、他に少数ながら **全納方式** と **延納申請方式** があります。どのタイミングでどのくらいの金額が必要になるのか？ まずはそれぞれの方式の<仕組み>を理解しましょう。

2段階納入方式 では1次手続き時に30万円程度の入学金のみを用意すれば良いのですが、**分割納入方式** だと入学金に加え（少なくとも）前期分の授業料と諸経費が必要となり、手続き時に約100万円の費用負担が発生します。進学しない場合は請求すれば入学金以外は返還されますが、振り込みは4月以降なので要注意です。

■表3 / 共通 入学手続き金の納入方式

方式	1次手続き(合格発表後1週間程度)	2次手続き(概ね3月下旬頃)	後期授業料納付期限(9月頃)
2段階納入方式	入学金のみでOK	<進学が確定した場合に> 前期 分の授業料&諸経費	後期 分の授業料(&諸経費)
分割納入方式 (=返還方式)	入学金+ 前期 分の授業料&諸経費	<進学しないと確定したら> 1次手続きで納めた 授業料&諸経費の 返還請求 をする。	<進学したら> 後期 分の授業料(&諸経費)
全納方式	入学金+ 通年 分の授業料&諸経費		(1次手続きで納入済み)
延納申請	指定の方法に従って延納を申し込む	<進学が確定した場合に> 入学金+ 前期 分の授業料&諸経費	後期 分の授業料(&諸経費)

■進学に必要な費用とサポート制度⑩

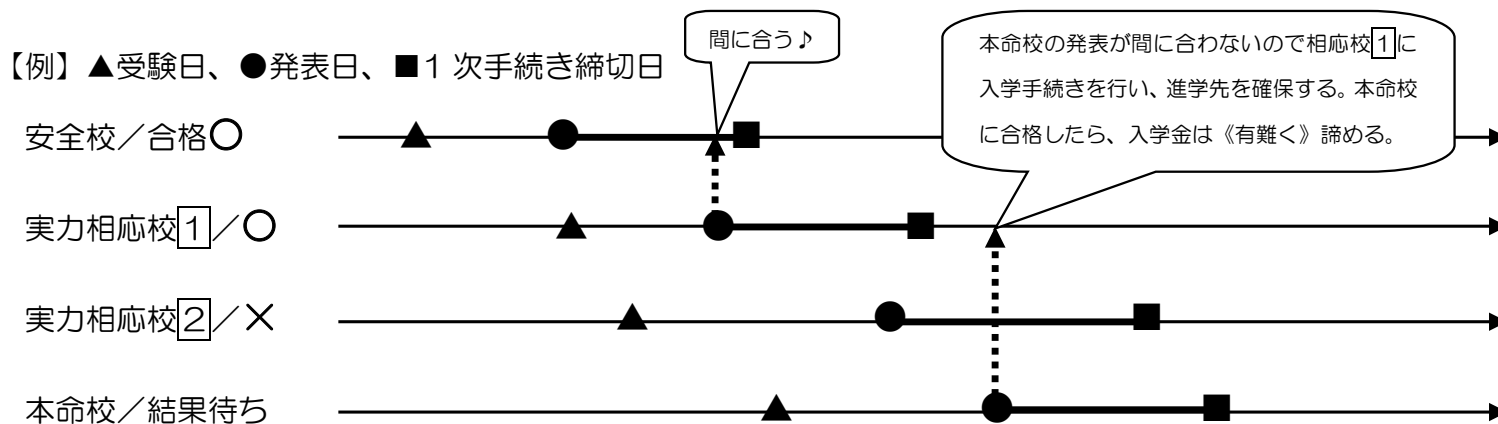
③ 一般選抜「2つの作戦」

本命校合格！のための併願作戦

- ★「安全校＝練習校」→「実力相応校」→「本命校」となるよう日程を考慮し、幅広い難易度の大学に出願する。
- ★複線入試（アラカルト方式や得意科目重視方式）の活用や学内併願（本命大学を繰り返し受験）で本命大学の受験回数を増やし、合格の可能性を高める。

受験料・納付金節約作戦

- ★私大の一般選抜では、複数出願に対する割引制度を設けていることが多いので、良く調べて上手に活用する。
- ★合格発表日と手続き締切日を踏まえた出願で、極カムダな「手続き」を避けられるよう工夫する。
 - ⇒ ただし！ 受験校全てに合格することはまずあり得ないので、本命校の発表までに最低1校は入学金を納める覚悟をし、その分も含めた資金計画を立てること。（親子で安心して受験を乗り切れる方が得策。）



■進学に必要な費用とサポート制度⑪

4 学費のサポート制度について ～奨学金・教育ローンなど～

前述のように大学進学にはかなりの費用がかかります。そのため、進学希望の学生を経済的に支えるための様々なサポート制度があります。どこにどのような制度があり、内容や条件はどのようなのか？を良く理解した上で状況にあわせて賢く活用すれば家計の負担を軽くできます。利用に際してのチェックポイントと代表的な制度は以下の通り。大切なのは諦めないことと予め無理のない返済計画を立てておくことです！

チェックポイントは…

選考基準、募集人数、支給金額、「**給付**（返還義務が無い）」と「**貸与**（返還義務がある）」のどちらか、返還方法、窓口、申し込みから実際の給付までの流れやタイミング、他の制度との併用は可能か、など。

代表的な制度・運営団体の紹介

★日本学生支援機構(旧:日本育英会) → <http://www.jasso.go.jp/>

- ・特徴…もっともポピュラーな奨学金。全て「**貸与**」なので、就職後に返還義務がある。詳細は同機構 HP を参照。
- ・種類…無利子の「**第一種奨学金**」と有利子の「**第二種奨学金**」があり、学業成績と家庭の経済状況の2点がそれぞれの基準を満たしていることが条件。条件を満たせば両方を併用することもできる。
さらに、第一種または第二種奨学金の申込者が入学月から貸与を受ける場合、一定の所得条件を満たせば、「**入学時特別増額貸与奨学金**」としてその月だけ10～50万円の増額を受けることも可能。
- ・採用枠…高校3年時の春に翌年の進学を見越して申込み「**予約採用**」と進学後に申込み「**在学採用**」がある。
主たる学費の負担者に緊急事態が起こった場合の「**緊急・応用採用**」もあり、こちらは随時対応してくれる。
(※いずれも入学手続きには間に合わないので「入学以前の利用は不可」という点は要注意。)

■進学に必要な費用とサポート制度⑫

★教育ローン → 【日本政策金融公庫】 <http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

【民間金融機関】 主な銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協などに担当部署があります。

- ・日本政策金融公庫が扱う国の教育ローンが代表だが、銀行等の民間金融機関でも独自に扱っている。
- ・国は条件が簡素で金利が低く返還機関が長い、民間は融資額の上限は高いが金利も高く使途も限定的。
- ・前者は1年ごとの契約で、1人10万～350万円の間で1万円刻み、家庭の経済状況が最大の条件。
- ・申込みは利用予定の3ヶ月前から可能。審査に10日程度＋振込みに1週間程度と、短時間で決着できる上、使途も大学納付金・受験費用・住居関連費・学生生活の費用と幅広く適用され使いやすい。

(※これだと特別入試の場合も含めて、入学手続きに利用することが可能。)

★各種団体による制度 → 各団体へ

- ・地方自治体、企業や個人が設けた育英団体等でも、多様な奨学金制度を実施している。
- ・選考基準等はそれぞれだが、両親または本人がその地域に住んでいることは一般的な条件と言えよう。

★大学・短大独自の制度(特待生制度を含む) → 各大学・短大へ

- ・主に自学の在学学生を対象としている。条件その他は各大学の要項やHP等で要確認。
- ・入学金や授業料の全額～一部を免除・給付・貸与するという形式が多い。
- ・特待生・給費生は、そのための選抜試験や一般入試での成績上位者を採用することが多く競争率は高い。特典やその適用期間、返還義務等は大学により様々なので、十分に吟味すること。

★新聞奨学生 → 新聞各社

- ・朝・夕刊の配達やチラシの折り込み作業等の仕事を行い、その給与とともに奨学金を得る。もちろん返還の義務は無い。更に部屋の無料提供、朝夕の賄いなど、一人暮らしを安心して始められる環境もある。
- ・働きながら学ぶ生活はハードだが、多くの学生が利用している。ただし、実習や実験など授業が多くて学業と業務が両立しにくい一部の学科系統からは実質的に応募できないので要注意。

★奨学金に関する参考図書 → 『蛍雪時代 6月号 臨時増刊 進路決定 資格・検定・職業ガイド』

- ・毎年「巻末特別企画」として『奨学金オールガイド』が掲載されます。高校の進路資料室にもあるもので、上記の情報を網羅しているので、概要を調べるには便利かつ十分です。(※詳細は必ず運営団体に直接確認するようにして下さい。)

■これからのために①

保護者の方へのお願い

◆高校卒業後の進路について家族で話題にし、十分に話し合う。

※高校生は「子供」で視野が狭く、周囲の雰囲気流されやすいものです。

※本人に任せきりにせず、自らの進路・将来としっかり向き合えるよう仕向け、サポートしてあげてください。

◆納得のいく進路に進めるよう、以下を参考にしっかり勉強させる。

※一般選抜はもちろん、特別選抜でも何らかの方法で学力評価は行われます。奨学金の申込みにも、高校での好成績・実力は不可欠です。

◆早目に計画的な資金準備に着手する。

※上級学校（特に大学）への進学には、かなりの費用がかかる。

※特別選抜で合格→進学する場合、入学手続きは「秋～冬休み前」となるため冬のボーナスは間に合わない。夏のボーナスを確保。

◆奨学金・サポート制度の上手な活用により、進学の夢を叶える道があることを忘れない。

■これからのために②

高校生として本人が成すべきこと

◆各教科の知識を十分に養う。

※高校の授業を大切に、少なくとも高校2年生までに扱う学習内容 = 「基本」の定着に取り組みさせる。

※中でも特に、英語・国語（現代文）などの読解力・表現力は文系・理系に関わらず、多くの場面でモノを言う。

◆社会生活に必須の「常識」を身につける。

※周囲から信頼・評価されるためにも しっかりとした生活態度、集団生活をスムーズに送れる能力を意識的に養わせる。

◆自分なりの目標を掲げ、卒業までに何か1つは「頑張る」「やり遂げる」経験を持つ。

※その過程が本人を成長させ、その事実が本人を一生支える自信を生む。総合型・学校推薦型選抜対策として有効。

【本日のポイント】

- 上級学校進学は将来の「就業」を規定する。希望の職種・理想の働き方をイメージ&リサーチして決める。
 - 進学には、かなりの費用がかかる。（特に大学は修業年限が長い。）
 - 特別選抜で進学する場合は、合格後すぐの「秋～12月初旬」が入学手続き。
- ★計画的な資金準備を
早目に行うことが重要。
- 奨学金・サポート制度の上手な活用により、諦めずに進学の実を叶える道がある。
 - 何よりも大事なものは、本人がしっかり勉強して十分な学力を養うこと。その意欲を持っていること。

【メッセージ】

◆ご視聴ありがとうございました！

現役生のみを対象とする予備校で10年近く
進学相談専門のカウンセラーを務めた後、大学に移り
キャリアコンサルタントとして就職支援を中心に
長く相談業務に携わってきた経験を元に、
本日は現場の話をお伝えしました。

ご質問等ございましたら、何でも仰って下さい。
皆様のお子様のより良い未来を心から応援しています。

進学アドバイザー 川野 文子

